

人々を癒し、初夏を彩る「天使の歌声」

2020 来日メンバー 〈シューベルト組〉



Kapellmeister
Oliver Stech

この季節になると、やっぱり聴きたくなる! 2020年初夏も、彼らがやってきます!

世界各地でコンサート開催しつつも、毎週日曜にあるウィーンでのミサも欠かすことなく歌い続け、ウィーン国立歌劇場やザルツブルク音楽祭等世界最高峰の場にも度々登場。さらには日本のテレビ番組「ピタゴラスイッチ」やCMにまで出演するなど、これほどまでに幅広い活動を展開する音楽団体は他にありません。多忙を極める彼らですが、これらすべての経験を心から味わい楽しむことができる純粋さも、ウィーン少年合唱団の魅力。500年を超える伝統と日々の研鑽だけでない、その前向きで明るい彼らの姿勢こそが「天使の歌声」たる所以なのです。

その多忙さの中、毎年この季節彼らが来日してくれることはファンとして本当にうれしい限り。彼らの声を聴かないと夏を迎えられない! そんな方も多いのではないのでしょうか。10歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿での全寮制で生活しており、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーという合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれて活動。2020年に来日するのはシューベルト組です。

今回も中世音楽から最近の日本のヒット曲まで、信じられないほど広いレパートリーを披露する予定。世界中の人々を癒す「天使の歌声」を心行くまでご堪能ください!

